

## 第2学年 算数科学習指導案

日時 令和4年9月22日(木) 5校時  
児童 男子2名 女子2名 計4名  
授業者 教諭 赤松 温美  
ひかりサポート 小野 ムツ子

### I 単元名

新しい計算を考えよう

### II 児童について

第2学年児童は、第1学年第7単元「10よりおおきいかず」や、第14単元「おおきいかず」で、「10が6こで60」という数の理解を基に、10のまとまりがいくつと数えてものの総数を求めたり、数のまとまりに着目して数を2ずつ、5ずつなどの同じ大きさの集まりにまとめて数えたりするなど、乗法の素地的な学習をしてきた。

児童の多くは、印をつけながら10のまとまりをつくって総数を求めることや、2とびや5とびで総数を求めることができるが、中には数え落としや読み間違いをする児童も見られる。

また、学習の中で対話の場を設け、式や図を関連付けながら話すことや、相手の言いたいことは何かを考えながら聞くことを指導してきたが、自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解しながら聞いたりすることが苦手な児童も見られる。これから繰り返し取り組む中で、お互いの考えから気づきがあったり、課題解決に向けて自分の考えを調整したりすることができる学び合いにしていきたい。

### III 単元の目標

乗法の意味について理解し、計算の意味や計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

### IV 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①乗法は、一つ分の大きさが決まっているときに、そのいくつ分に当たる大きさを求める場合に用いられるなど、乗法の意味と、それが用いられる場面について理解している。 ②乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。 ③乗法に関して成り立つ簡単な性質を図を用いて理解している。 ④乗法九九について、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。	①数のまとまりに着目し、数の数え方を考えている。 ②乗法が用いられる場面を、具体物や図などを用いて考え、式に表したり、乗法の式を具体的な場面に結び付けてとらえたりしている。 ③計算の仕方を振り返り、乗法に関して成り立つ簡単な性質を見いだしたり、それを基に乗法を構成したりしている。	①一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分に当たる大きさを求める場合に、乗法を用いるとその総数を簡単に求めることができるというよさに気づき、乗法の場面を身の回りから見付け、乗法を用いようとしている。

V 着目させたい既習事項

まとめり 全部の数 増える 図 3口のたし算 4口のたし算
-------------------------------

VI 指導計画（22時間）

	時	ねらい	評価規準・評価方法等		
			知	思	態
かけ算	1	「1つ分の数」「いくつ分」ととらえ、「1つ分の数」と「いくつ分」の関係の場合に乗法が用いられることを知り、乗法の意味を理解する。		○思① 行動観察 ノート分析	・態① 行動観察 ノート分析
	2				
	3	乗法の場面を式やおはじきで表す活動を通して、乗法の意味の理解を確実にする。	・知① 行動観察 ノート分析		
	4			○思② 行動観察 ノート分析	
	5 本時	乗法の答えは被乗数を乗数の数だけ累加して求められることを理解する。	○知② 行動観察 ノート分析		
	6	倍の意味を知り、ある量の何倍かにあたる量を求めるときもかけ算を用いることを理解する。	○知① 行動観察 ノート分析		
	7	単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。		・思② 行動観察 ノート分析	○態① 行動観察 ノート分析
5の段、2の段の九九	8	5の段の九九の構成の仕方を理解する。	・知③ 行動観察 ノート分析		
	9	5の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	・知④ 行動観察 ノート分析		
	10				
	11	2の段の九九の構成の仕方を理解する。	○知③ 行動観察 ノート分析	・思③ 行動観察 ノート分析	
	12	2の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	○知④ 行動観察		

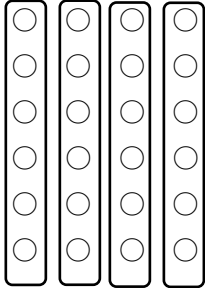
	13		ノート分析		
3の段、 4の段の九九	14	3の段の九九の構成の仕方を理解する。	○知③ 行動観察 ノート分析	・思③ 行動観察 ノート分析	
	15	3の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	○知④ 行動観察 ノート分析		
	16				
	17	4の段の、九九の構成の仕方を理解する。	・知③ 行動観察 ノート分析	○思③ 行動観察 ノート分析	
	18	4の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	○知④ 行動観察 ノート分析		
	19				
	20	問題づくりによる、式の読みや式に表現することを通して、5, 2, 3, 4の段の九九の理解を深める。	・知① 行動観察 ノート分析	○思② 行動観察 ノート分析	
まとめ	21	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値付ける。	○知④ 行動観察 ノート分析	○思② 行動観察 ノート分析	○態① 行動観察 ノート分析
	22				

Ⅶ 本時の指導

(1) 本時のねらい

乗法の答えは被乗数を乗数の数だけ累加して求められることを理解する。

(2) 展 開 (5/22)

段階	○学習活動 ・児童の反応	指導上の留意点
<p>つ か む</p> <p>10 分</p>	<p>1 問題の把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>㊦ 1はこにおかしが6こずつ入っています。4はこでは、おかしは何こになりますか。</p> </div> <p>○問題を読み、求答事項を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1箱におかしが6個ずつ入っている。4箱ある。</li> <li>・ 4箱では、おかしは何個になるか。</li> </ul> <p>○立式する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>6 \times 4</math></li> </ul> <p>○図をかき、立式の根拠を明確にする。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>・ 1箱に6個ずつだから、1つ分の数は、6。4箱分だから、いくつ分は、4。全部の数は24。 <math>6 \times 4 = 24</math> <u>答え 24個</u></p> <p>2 課題の把握</p> <p>○本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>㊦ <math>6 \times 4</math>のこたえのもとめ方を考えよう。</p> </div> <p>3 見通し</p> <p>○おはじきや図以外の方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算。</li> </ul>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までの学習内容の掲示で、「1つ分の数」「いくつ分」のとらえ方を振り返られるようにする。</li> <li>・ 問題文ではおかしが全部見えないので、図をかいて、題意をしっかりとつかませる。</li> <li>・ 「1はこに6こずつ4はこ分」という言葉と、図、式、「1つ分の数×いくつ分=全部の数」という言葉の式を結び付けてとえられるようにする。</li> <li>・ 数えて求められることを認めた上で、大変であることに気付かせ、計算を用いることの必要感をもたせる。</li> <li>・ 今までは、おはじきや図で数えて答えを出してきたが、数える以外に方法はないか考えさせる。</li> <li>・ 6のまとまり4つで24になることを計算で表せそうだと気付かせる。</li> </ul>

<p>し ら べ る</p> <p>1 5 分</p>	<p>4 自力解決</p> <p>○<math>6 \times 4</math>の答えを求める計算を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>6 + 6 + 6 + 6 = 24</math> <u>答え 24個</u></li> <li>・<math>6 + 6 = 12</math> <math>12 + 6 = 18</math> <math>18 + 6 = 24</math> <u>答え 24個</u></li> </ul> <p>5 比較検討</p> <p>○どのような考え方をしたのかペアで説明し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つ分の数が6個で、それが4つ分あるので、<math>6 + 6 + 6 + 6 = 24</math> 全部で24個 <u>答え 24個</u></li> <li>・1つ分が6個で、それが4つ分あるから、6個と6個をたして<math>6 + 6 = 12</math> <math>12</math>に6個をたして<math>12 + 6 = 18</math> <math>18</math>に6個をたして<math>18 + 6 = 24</math> 全部で24個 <u>答え 24個</u></li> </ul> <p>○全体でどのように考えたのか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>6 \times 4 = 24</math>の答えは、<math>6 + 6 + 6 + 6 = 24</math>で出すことができる。</li> </ul> <p>○<math>6 \times 4 = 24</math>と<math>6 + 6 + 6 + 6 = 24</math>の2つの式の共通点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6は、1つ分の6。</li> <li>・4は、6を4回たしている4。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算での求め方が考えつかない児童には、「1つ分の数」「いくつ分の数」が図のどこにあたるのか気付くように支援する。</li> <li>・必要に応じて計算過程の書き込みや、筆算を用いてよいことを伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1つ分の数」「いくつ分」「全部の数」などの算数用語を使って説明させる。</li> <li>・図・式を関連付けながら説明させる。</li> <li>・立式の根拠に気を付けて聞かせる。</li> <li>・分からなかったことや確かめたいことなどを対話する中で、解決していく。</li> <li>・自分の考えと相手の考えを比べながら聞き、お互いの足りない部分を補い合い、考えを確かなものにしていく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>6 + 6 + 6 + 6 = 24</math>も <math>6 + 6 = 12</math> <math>12 + 6 = 18</math> <math>18 + 6 = 24</math>も、6を4回たしていることを確認する。</li> <li>・<math>6 \times 4 = 24</math>と<math>6 + 6 + 6 + 6 = 24</math>の2つの式の結びつきについて考えさせることで乗法と加法の関係の理解を深める。</li> </ul>
<p>ま と め る</p> <p>5 分</p>	<p>6 まとめ</p> <p>○<math>6 \times 4</math>の答えは、累加で求められることをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Ⓢ<math>6 \times 4</math>のこたえは、<math>6 + 6 + 6 + 6</math>の計算でもとめることができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程を振り返り、かけ算の答えを累加で求められることをまとめる。</li> </ul>

たし かめ る 10 分	7 評価問題 ○△4を解く。 ① $3 \times 4 = 12$ $3 + 3 + 3 + 3 = 12$ 答え <u>12こ</u> ② $8 \times 3 = 24$ $8 + 8 + 8 = 24$ 答え <u>24本</u> ○△5を解く。 $7 \times 6 = 42$ $7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 = 42$ 答え <u>42</u>	・必要に応じて計算過程の書き込みや筆算をしてよいことを伝える。 ・かけ算を累加の式でとらえさせる。
ふり か え る 5 分	8 振り返り ○今日の学習の中で大切だと思ったことを視点として振り返る。	・「1つ分の数」を「いくつ分」の数の分だけ累加すると答えが求められることや計算で求めることよさを再確認するための振り返りとする。

(3) 評価規準

【知・技】

乗法の答えは被乗数を乗数の数だけ累加して求められることを理解している。

【支援を要する児童への手立て】

「1つ分の数」「いくつ分の数」が図のどこにあたるのか気付くように支援する。

VIII 板書計画

<p>⑤ 1はここにおかしが6こずつ入っています。4はどこでは、おかしは何こになりますか。</p>	<p>⑥ <math>6 \times 4</math>のこたえのもとめ方を考えよう。</p>	<p>⑦ <math>6 \times 4</math>のこたえは、<math>6 + 6 + 6 + 6</math>の計算でもとめることができる。</p>
<p>しき <math>6 \times 4 = 24</math></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">1つ分の数</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">いくつ分</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">ぜんぶの数</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	<p>⑧ けいさん</p> $6 + 6 + 6 + 6 = 24$ <p>答え <u>24こ</u></p> $6 + 6 = 12$ $12 + 6 = 18$ $18 + 6 = 24$ <p>答え <u>24こ</u></p> <p>⑨ <math>6 \times 4 = 24</math>    <math>6 + 6 + 6 + 6 = 24</math></p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>	<p>△4</p> <p>① <math>3 \times 4 = 12</math>  <math>3 + 3 + 3 + 3 = 12</math>          答え <u>12こ</u></p> <p>② <math>8 \times 3 = 24</math>  <math>8 + 8 + 8 = 24</math>          答え <u>24本</u></p> <p>△5</p> <p><math>7 \times 6 = 42</math>  <math>7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 = 42</math>          答え <u>42</u></p>